

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 瀬戸市が発表した菱野団地の適正規模・適正配置に関する計画案が子どもの学び・発達を全面的に保障するものか</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>菱野団地における特別支援学校を含む公立学校の適正規模・適正配置についての案が突如発表され、学校現場や保護者、学校での学びや生活を支える方々から疑問や不安、戸惑いの声が多数寄せられている。</p> <p>全国では、2001年頃から東京都の学校選択制導入による影響や、平成の市町村合併の影響で廃校数が増加してきた。さらに2014年には「地方創生」政策のもとで、全自治体に「公共施設等総合管理計画」の策定を要請し、(次ページ)</p>	<p>(1) 菱野団地の適正規模・適正配置に関する計画は、当事者の声を聞き抜本的な見直しを求める</p>	<p>①市は「児童生徒が適切な教育環境で学校生活を送れるよう適正規模・適正配置を推進する」としているが、市の考える「適正規模・適正配置」とは具体的にどのようなことか伺う。</p> <p>②これまで小規模校のデメリットが大きく取り上げられてきたが、瀬戸市は小学校2校を小規模特認校として認定し、市内在住であれば1年生の入学時に学区外からでも通学できるようにしている。子どもたちにとっての小規模校のメリットを具体的に伺う。</p> <p>③今回の統廃合の根拠の1つとされた菱野団地再生計画があるが、菱野団地再生計画策定検討委員会の議事録では、第4回で学識経験者から「菱野団地の現状分析と再生計画の提案」の中で小学校の統合が示されている。それに対して委員からは感想が述べられた程度で、それ以前もそれ以降も、議事録の中では今回の統廃合の根拠とされるだけの議論はされていない。また、策定時に菱野団地在住の6,050戸に対して実施されたアンケートの自由意見として「小学校を統合して欲しい」という意見が報告されているが、回収された2,565のアンケートの中の8件であり、この計画を今回の計画の根拠とするには不十分と感じるが市の見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>公共施設の延べ床面積の40～60%を占める学校施設は、多くの自治体で面積削減のターゲットとなり学校統廃合が推し進められてきた。</p> <p>瀬戸市でも「適正規模・適正配置」の名の下に推進されてきた公立学校の統廃合では開校して2年が経過するにじの丘学園は1,000人を超える大規模校となっている。子どもの権利条例制定に取り組む瀬戸市にふさわしく、子どもの権利条約の4原則に則っているのかどうかを検証し、病気や障害の有無、国籍や文化背景に関わらず、全ての子どもの学びと発達、そして命を全面的に保障する学校教育の実現に向けて質問をする。</p>		<p>④計画案にもあるように「児童生徒が適切な教育環境で学校生活を送れる」ためにも計画案には、児童生徒・教職員・保護者・地域住民の声、愛知県・尾張旭市・長久手市教育委員会や、専門家の意見を取り入れる必要があったと考えるが、今回の計画案を作成する段階では行われていない。そして、昨年12月には自治会役員、統廃合対象校のPTA役員に説明をしており、当事者の意見を聞いている最中とのことだが、それらの意見を踏まえてスケジュールも含めた大幅な計画変更もありうると考えて良いか伺う。</p> <p>⑤児童生徒の義務教育を支える教育条件の整備に関して、文科省は中央教育審議会の答申をホームページに掲載している。そこには「義務教育は国全体を通して最重要事項であり、その教育の質の向上のために、国と地方が協力して教職員配置、設備・教材、学校の施設など、教育を支える条件整備を確固たるものとし、それらが十分充実していることが肝要である」とされている。この一文を見ただけでも、子どもたちが義務教育を受ける権利がどれだけ尊いものであるか、その重みが表れていると考える。今回の計画案は、残念ながらその答申をしっかりと受けとめた計画であるとは言いがたいと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑥今回の計画は2021年6月の起案から、この案が決定した10月の市長・教育長等の参加する政策会議まではわずか5ヶ月間しかなかった。現段階では、この計画には、まだ当事者である子どもや保護者、教職員の意見が十分反映されているとは考えにくいと、計画の抜本的な見直しが必要と考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(2) 「適正規模・適正配置」を掲げて 7 小中学校を統廃合したにじの丘学園は適正規模と言えるか</p> <p>(3) 菱野団地の原山・萩山・八幡小学校の現状と課題について</p>	<p>①にじの丘学園の開校 1 年前 (2019 年度・令和元年) の学年進行表では、2021 年度 (令和 3) の児童生徒数を、小学生 628 人 19 学級、中学生 236 人 9 学級と見込んでいたが、今年度 2021 年 (令和 3) 5 月時点で小学生 674 人 21 学級、239 人 9 学級となっている。わずか 2 年間で小学校では 46 人 2 学級増えている理由や背景を伺う。 ※ここでは開校前に支援級の学級数が不明だったため、支援級の人数と学級数は比較対象から外しています。</p> <p>②にじの丘学園では小学校・中学校全体で普通教室が 35 教室あり、現時点で空き教室は 5 教室と聞いている。今後、教室が不足する可能性の有無と、不足する場合はその対応についてどのように考えているか伺う。</p> <p>③開校から 2 年が過ぎようとしているにじの丘学園は、市の予測では 2022 年度 (令和 4) に児童生徒あわせて 1,000 人を超える大規模校となるが、現状を「適正規模」と言えるか市の見解を伺う。</p> <p>④2018 年 (平成 30 年) の文科省の調査では、日本語指導が必要な児童生徒の在籍は愛知県が 9,100 人とダントツの 1 位であり、2 位の神奈川県 4,453 人の倍以上となっている。今回統廃合の対象となっている菱野団地の 3 小学校には瀬戸市内で日本語指導が必要な児童 148 人の内の 102 人 (68.9%) が在籍しており、日本語指導が行われているが現在の問題や今後の課題を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) 瀬戸市立瀬戸特別支援学校 (さくらんぼ学園) の現状と今後の課題について</p>	<p>② 今回の統廃合計画の説明は昨年12月にPTA役員まで伝え、その後今年4月以降のPTA総会で全保護者に説明を予定しているとのことだが、母語を日本語としない保護者も多く、通訳の配置や個別の説明と質疑等も設定しなければ、計画の背景から内容まで詳細な理解が難しい場合もあると考えるが、具体的にどのように対応していく予定か伺う。</p> <p>③ 現在、3小学校には日本語教育の教員が2名ずつ配置されているが、現在の児童数で考えると3校が1校に統合されると日本語の教員が1名減ってしまう計算になる。児童にとっても日本語教育の教員にとっても負担が大きくなると思うが、この予測される状況に対する見解を伺う。</p> <p>④ 国籍に関わらず児童1人1人のルーツや文化背景、そして母語・継承語を家族やコミュニティの中で大切にしていくことは、子どもの尊厳を守ることであり人格形成には欠かせないと考えます。その上で、日本語も使いながら義務教育の中で、学びと発達が保障されるべきであり、それは少人数だからこそ手厚く豊かに行えると思うが、見解を伺う。</p> <p>① 現在、肢体不自由の児童生徒には欠かせない自立活動を実施するための自立活動室が不足している。また、開校して12年になるさくらんぼ学園では、水治訓練を実施するための温水プールがないままであり、これまで具体的にどのようにこれらの教育活動を実施してきたか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>②現在、特別教室や体育館が萩山小学校と光陵中学校と共有になっており、本来各学校にあるべき特別教室がないことがそもそも問題であると考えているが、萩山小学校、光陵中学校、特別支援学校の小学部・中学部・高等部のそれぞれの教育活動に支障が生じていないか、課題も併せて伺う。</p> <p>③現在、さくらんぼ学園の普通教室は、既存の小中学校の1教室をアコーディオンカーテンで仕切って2教室にしている。肢体不自由の特別支援学校には、車いすや自立活動用の器具などを置く場所も必要であるがそれらの保管場所が確保され、児童生徒の教育活動に十分な広さが確保できているか。また新型コロナウイルス感染対策としての十分な距離を保てるだけの広さが確保できているか伺う。</p> <p>④現在、トイレについては各フロアに十分な設備と広さがあるか。また障害の程度に関わらず排泄介助やおむつ交換や着替えなどは、プライバシーが守られ空調管理が整ったスペースで行われているか伺う。</p> <p>⑤現在、給食に関しては萩山校で調理し、光陵校舎にある中学部・高等部へ届けているが、普通食以外の形態食は1人1人に合わせて細やかに対応できているか。また、アレルギー対応食は安全に調理できる環境が整備されているか伺う。</p> <p>⑥医療ケアの必要な児童生徒も増加傾向と聞いているが、現在、看護師の配置や医療ケアを実施するための教室や専用のスペースは確保されているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑦現在、さくらんぼ学園は県内の特別支援学校では珍しいがスクールバスが出ておらず、児童生徒は保護者の送迎となっており、光陵校舎の校門付近には、毎朝中学部・高学部の保護者の車で渋滞ができています。</p> <p>さくらんぼ学園では、学校敷地内外の交通整理と、光陵中学生との接触事故防止のため、毎朝教職員が4～5人で交通整理をしているが、この状況に対する改善の要望が市にも届いているとのことだが、具体的な改善策をスケジュールと併せて伺う。</p> <p>⑧統合により、現在の中学部・高等部の送迎に更に小学部が加わると、現状以上の混乱となることを心配する保護者の声が多数寄せられているが、見解を伺う。</p> <p>⑨統合により増加するさくらんぼ学園の教職員用の駐車場は、光陵中学校のグラウンドを削って設置することが示されていたが、光陵中学生の教育活動スペースの削減は避けるべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑩さくらんぼ学園は、既存の公立学校の空き教室を使用しているため施設設備面では、県内の特別支援学校よりも使い勝手の悪い部分があり、学校長はじめ教職員は、ハード面を補いながら障害を持つ児童生徒の学校教育の保障に努めている。人的、物理的、精神的な負担があると考えますが労働環境は十分に保障されているか伺う。</p> <p>⑪2021年9月に特別支援学校の設置基準が策定されたが、現在のさくらんぼ学園に対しては、この設置基準をどのように反映していく予定か。また、統合計画にあるさくらんぼ学園は、この設置基準に照らして最低基準以上の学校を設置すべきと考えるが、この統合案にはそれが反映されているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。